

教科名	理 科	科目名	科学と人間生活 ■必修 □選択	学年	1 年	単位数	2
使用教科書 副教材 等	高等学校 科学と人間生活 (啓林館) 学習ノート 書き込み式傍用問題集 (啓林館)			使用教室	HR 教室		
学習の 目標	自然に対する理解や科学技術の発展が日常生活や社会に与えた影響と、それらが果たしてきた役割を学ぶ中で、科学に対する興味・関心を高め、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する						
評価	評価法	興味関心、学習意欲、授業態度と合わせて、下記項目で評価します。 ■定期考査 ■小テスト ■ノート・授業プリント ■振り返りシート □作品 ■パフォーマンス課題 (プレゼンテーション・小論文・レポート・ ディベート・自主学習ノート) □その他 ( )					
	評価 観点 の 趣 旨	a	知識・技能	自然と人間生活の関わり及び科学技術と人間生活の関わりについて理解できているか。観察・実験を通して科学的に探究するために必要な技能が身についているか。			
		b	思考・判断・ 表現	人間生活と関連のある自然の事物・現象の中に問題を見出し、見通しをもって観察・実験などを行うことができるか。観察・実験の結果を分析して解釈したことを、話し合いや発表、レポート作成などを通して的確に表現しているか。			
		c	主体的に学習 に取り組む 態度	自然の原理・法則や科学技術の発展と人間生活との関わりについて、科学的な根拠に基づいて多面的に捉え、主体的に学ぶ態度を養う			
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、観点別学習状況の評価 (A、B、Cの3段階) および評点 (1~10の10段階) にまとめます。							
学期	月	学習項目・単元	学習内容・ねらい	評価方法			
				項目	a・b・c		
1	4	タンパク質と遺伝子	【生命の科学】 遺伝子の働き、視覚、血糖濃度の調節、免疫についての観察、実験などを行い、ヒトの生命現象を人間生活と関連付けて理解する	■定期考査	a	b	c
	5	ヒトの視覚と光		■小テスト	a		
	6	血糖濃度の調整		■ノート	a	b	c
	7	免疫		■振り返りシート			
		□作品		a	b	c	
				■パフォーマンス課題	a	b	c
				□その他			
				( )			
2	9	衣服の科学	【物質の科学】 衣料と食品に関する観察、実験などを行い、身近な衣料材料の性質や用途、食品中の主な成分の性質について、日常生活と関連付けて理解する	■定期考査	a	b	c
	10	食品の科学		■小テスト	a	b	c
	11	熱とは何か		■ノート	a	b	c
	12	エネルギーの利用		■振り返りシート	b		
		□作品		a	b	c	
				■パフォーマンス課題	a	b	c
				□その他			c
				( )			
3	1	河川のはたらきによる景観と災害	【宇宙や地球の科学】 自然景観と自然災害に関する観察、実験などを行い、身近な地域の自然景観をつくりだした諸作用とそこに潜在する自然災害の危険性について、人間生活と関連付けて理解する	■定期考査	a	b	
	2	地震による景観と災害		■小テスト			
	3	火山による景観と災害		■ノート	a	b	c
				■振り返りシート	a		c
		□作品		a		c	
				■パフォーマンス課題		b	c
				□その他			
				( )			
担当者からのメッセージ (学習方法など)							
定期考査はもちろんのこと、日々の授業を大切にし真面目にコツコツ取り組むこと。							

教科名	理 科	科目名	物理基礎 ■必修 □選択	学年	2 年	単位数	2
使用教科書 副教材 等	新編 物理基礎 (数研出版) 物理基礎 学習ノート (数研出版)			使用教室	HR教室 物理実験室		
学習の 目標	物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。						
評価	評価法	興味関心、学習意欲、授業態度と合わせて、下記項目で評価します。 ■定期考査 ■小テスト ■ノート・授業プリント ■振り返りシート □作品 ■パフォーマンス課題 (プレゼンテーション・小論文・レポート・ ディベート・自主学習ノート) □その他 ( )					
	評価 観点 の 趣旨	a	知識・技能	日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けているか。			
		b	思考・判断・表現	物体の運動と様々なエネルギーから問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究しているか。			
		c	主体的に学習に取り組む態度	物体の運動と様々なエネルギーに主体的にかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしているか。			
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、観点別学習状況の評価 (A、B、Cの3段階) および評点 (1~10の10段階) にまとめます。							
学期	月	学習項目・単元	学習内容・ねらい	評価方法			
				項目	a・b・c		
1	4	物理量の扱い方	物体の運動とエネルギーを日常生活や社会と関連付けながら、日常に起こる物体の運動についての観察、実験などを通して理解させるとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けさせ、思考力、判断力、表現力などを育成する。	■定期考査	a	b	c
	5	速度		■小テスト	a		
	6	加速度		■ノート	a	b	c
	7	落体の運動		■振り返りシート □作品 ■パフォーマンス課題 □その他 ( )		b	c
2	9	力とそのはたらき	様々な力とその働きについての観察、実験などを通して、様々な力、力のつりあい、運動の法則、物体の落下運動について理解し、それらの観察、実験などの技能を身に付けさせるとともに、思考力、判断力、表現力等を育成する。	■定期考査	a	b	c
	10	運動の法則		■小テスト	a		
	11	摩擦を受ける運動		■ノート	a	b	c
	12	液体や気体から受ける力 仕事 運動エネルギー 力学的エネルギーの保存		■振り返りシート □作品 ■パフォーマンス課題 □その他 ( )		b	c
3	1	熱と仕事	熱、波、電気についての観察、実験などを通して、熱と温度、熱の利用波の性質、音と振動、物質と電気抵抗、電気の利用について理解させ、それらの観察、実験などの技能を身に付けさせるとともに、思考力、判断力、表現力等を育成する。	■定期考査	a	b	c
	2	波の性質		■小テスト	a		
	3	音 物質と電気抵抗 磁場と交流		■ノート ■振り返りシート □作品 ■パフォーマンス課題 □その他 ( )		b	c
担当者からのメッセージ (学習方法など)							
定期考査はもちろんのこと、日々の授業を大切にし真面目にコツコツ取り組むこと。							

教科名	理 科	科目名	化学基礎 ■必修 □選択	学年	3 年	単位数	2
使用教科書 副教材 等	新編 化学基礎(東京書籍) ニューサポート新編化学基礎			使用教室	HR教室 化学実験室		
学習の 目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察・実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。						
評価	評価法	興味関心、学習意欲、授業態度と合わせて、下記項目で評価します。 ■定期考査 ■小テスト ■ノート ■振り返りシート □作品 ■パフォーマンス課題 (プレゼンテーション・小論文・レポート・ ディベート・自主学習ノート) □その他 ( )					
	評価 観点の 趣旨	a	知識・技能	化学と物質についての実験などを通して、化学の特徴について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。			
		b	思考・判断・ 表現	物質とその変化の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。			
		c	主体的に学習 に取り組む 態度	化学の特徴に関する事物・現象について主体的に関り、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、観点別学習状況の評価 (A、B、Cの3段階) および評点 (1~10の10段階) にまとめます。							
学期	月	学習項目・単元	学習内容・ねらい	評価方法			
				項目	a・b・c		
1	4	物質の成分 物質の構成元素 物質の三態	物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態のものを理解し、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。	■定期考査	a	b	c
	5	原子の構造 電子配置と周期表	物質の構成粒子について、原子の構造、電子配置と周期表のものを理解する。	■小テスト	a		
	6	イオンとイオン結合 分子と共有結合 金属と金属結合	イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合の基本的な概念や原理・原則などを理解する。	■ノート	a	b	c
2				■振り返りシート			
				□作品	a	b	c
				■パフォーマンス課題	a	b	c
				□その他			
				( )			
3	7	化学結合と物質の分類	結合の種類から物質の大きな性質がわかる。	■定期考査			
	9	原子量・分子量・式量 物質質量	原子量、分子量、式量のそれぞれが表す値を理解する。物質質量を中心とした単位変換を理解する。	■小テスト	a	b	c
	10	溶液の濃度	質量パーセント濃度とモル濃度の違いがわかる。	■ノート	a	b	c
	11	化学反応式の表し方 化学反応式の表す量的関係	化学反応式やイオン反応式の内容を理解する。化学反応式の係数が表す量的関係を考える。	■振り返りシート	b		
	12	酸と塩基 水素イオン濃度とpH 中和反応	酸と塩基の性質について理解する。水溶液の酸性・塩基性と水素イオン濃度の関係が分かる。酸と塩基が完全に中和するときの化学反応式が書ける。	□作品	a	b	c
3				■パフォーマンス課題	a	b	c
				□その他			
				( )			
	1	酸化と還元 酸化剤と還元剤 金属の酸化還元反応	酸化と還元について、電子の授受で説明できる。代表的な酸化剤、還元剤を覚える。金属の反応性の違いは、金属のイオン化傾向と深い関係があることを理解する。	■定期考査	a	b	
				■小テスト			
			■ノート	a	b	c	
			■振り返りシート	a		c	
			□作品	a	b	c	
			□パフォーマンス課題	a	b	c	
			□その他				
			( )				
担当者からのメッセージ (学習方法など)							
定期考査はもちろんのこと、日々の授業を大切に真面目にコツコツ取り組むこと。							

教科名	理 科	科目名	物理 □必修 ■選択	学年	3 年	単位数	2
使用教科書 副教材 等	物理(数研出版) 新課程 フォローアップドリル物理 ①力と運動・熱と気体(数研出版)			使用教室	HR教室 物理実験室		
学習の 目標	物理的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深めさせ、科学的な自然観の見方や考え方を育成する。						
評価	評価法	興味関心、学習意欲、授業態度と合わせて、下記項目で評価します。 ■定期考査 ■小テスト ■ノート・授業プリント ■振り返りシート □作品 ■パフォーマンス課題(プレゼンテーション・小論文・レポート・ ディベート・自主学習ノート) □その他 ( )					
	評価 観点の 趣旨	a	知識・技能	物理学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する捜査や記録などの技能を身に付けているか。			
		b	思考・判断・ 表現	物理的な事物・減少から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究することができるか。			
		c	主体的に学習 に取り組む 態度	物理的な事物・現象に主体的にかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしているか。			
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、観点別学習状況の評価(A、B、Cの3段階)および評点(1~10の10段階)にまとめます。							
学期	月	学習項目・単元	学習内容・ねらい	評価方法			
				項目	a・b・c		
1	4	運動の表し方	運動の基本法則を理解し、それらを応用して様々な運動の解析に発展することを物理学的に理解し、日常に起こる物体の運動についての観察、実験などを通して理解させるとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けさせ、思考力、判断力、表現力などを育成する。	■定期考査	a	b	c
	5	落体の運動		■小テスト	a		
	6	剛体にはたらく力 運動量と力積 運動量の保存		■ノート	a	b	c
	7	衝突とエネルギー		■振り返りシート □作品 ■パフォーマンス課題 □その他 ( )		b	c
2	9	等速円運動	様々な力とその働きについての観察、実験などを通して、単振動、円運動、万有引力を受ける物体の運動について理解し、それらの観察、実験などの技能を身に付けさせるとともに、思考力、判断力、表現力等を育成する。	■定期考査	a	b	c
	10	慣性力 単振動		■小テスト	a		
	11	ケプラーの法則 万有引力		■ノート	a	b	c
	12	万有引力による位置エネルギー		■振り返りシート □作品 ■パフォーマンス課題 □その他 ( )		b	c
3	1	気体の状態方程式 気体分子の運動 気体の内部エネルギー	熱が関係する現象に関心を持ち、物質の状態変化や物質中の原子の振る舞いについての観察、実験などを通して、気体の状態が変化するとき成立する諸法則及び状態方程式について理解させ、それらの観察、実験などの技能を身に付けさせるとともに、思考力、判断力、表現力等を育成する。	■定期考査	a	b	c
		気体の状態変化		■小テスト	a		
				■ノート	a	b	c
				■振り返りシート □作品 ■パフォーマンス課題 □その他 ( )		b	c
担当者からのメッセージ(学習方法など)							
定期考査はもちろんのこと、日々の授業を大切に真面目にコツコツ取り組むこと。							